【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第３区分
【発行日】令和4年1月19日(2022.1.19)

【国際公開番号】WO2020/188760
【出願番号】特願2021-506903(P2021-506903)
【国際特許分類】
Ｇ０６Ｆ　1/20(2006.01)
【ＦＩ】
Ｇ０６Ｆ　1/20　　Ｃ
Ｇ０６Ｆ　1/20　　Ｂ

【手続補正書】
【提出日】令和4年1月11日(2022.1.11)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
装置本体と、
前記装置本体を支持すると共に、ユーザの頭部に装着される装着バンドと、
前記装置本体の上部に配置されており、１以上の電子部品を実装する実装面を有する回路基板と、
前記装置本体の上部において前記実装面に対向して配置される冷却装置と、
を有し、
前記回路基板は、前記電子部品として集積回路を実装しており、
前記冷却装置は、前記集積回路に接触すると共に前記集積回路から生じた熱を拡散させる熱拡散部材を含み、
前記熱拡散部材には、その内部に、温度に応じて蒸発又は凝縮する流体が封入されている、
ヘッドマウントディスプレイ。
【請求項２】
前記装置本体は、表示装置を内蔵しており、
前記回路基板及び前記冷却装置は、前記表示装置より上方に配置されている、
請求項１に記載のヘッドマウントディスプレイ。
【請求項３】
前記装置本体は、表示装置と、表示装置からの画像光をユーザの眼に導くレンズとを内蔵しており、
前記回路基板及び前記冷却装置は、前記レンズより上方に配置されている、
請求項１に記載のヘッドマウントディスプレイ。
【請求項４】
前記回路基板は、前記実装面が上方を向くように配置されている、
請求項１～３のいずれか１項に記載のヘッドマウントディスプレイ。
【請求項５】
前記装置本体は、前記装着バンドに支持される被支持部を有し、
前記被支持部は、少なくとも一部が前記冷却装置の上方に配置されている、
請求項１～４のいずれか１項に記載のヘッドマウントディスプレイ。
【請求項６】

前記被支持部は、前記装着バンドに対して前後方向に相対的に移動可能に前記装着バンドに支持されている、
請求項５に記載のヘッドマウントディスプレイ。
【請求項７】
少なくとも一部が前記冷却装置より上方に設けられており、ユーザからの操作を受け付けることにより、前記装着バンドに対する前記被支持部の相対的な移動の規制を解除する操作部を有する、
請求項６に記載のヘッドマウントディスプレイ。
【請求項８】
前記冷却装置は、冷却風を生じさせる冷却ファンを含む、
請求項５～７のいずれか１項に記載のヘッドマウントディスプレイ。
【請求項９】
前記冷却ファンは、前記被支持部の左右両側にそれぞれ配置されている、
請求項８に記載のヘッドマウントディスプレイ。
【請求項１０】
前記冷却ファンは、中心軸を中心として回転する羽根を有し、
前記中心軸の延伸方向は、前記回路基板を貫く方向である、
請求項８又は９に記載のヘッドマウントディスプレイ。
【請求項１１】
前記冷却装置は、放熱フィンを含む、
請求項１～１０のいずれか１項に記載のヘッドマウントディスプレイ。
【請求項１２】
前記放熱フィンは、所定方向に並んで複数設けられており、前記回路基板が設けられる側から上方に向けて延伸している、
請求項１１に記載のヘッドマウントディスプレイ。
【請求項１３】
前記熱拡散部材は、少なくとも放熱フィンを載せる載置部を含む、
請求項１～１２のいずれか１項に記載のヘッドマウントディスプレイ。
【請求項１４】
前記熱拡散部材は、前記載置部を、前記集積回路と接触する接触部よりも上方に配置するように、前記載置部と前記接触部とを接続する接続部とを含む、
請求項１３に記載のヘッドマウントディスプレイ。
【請求項１５】
前記１以上の電子部品は、前記載置部の直下において前記実装面に実装されており、前記集積回路よりも厚みが厚い第１の電子部品を含む、
請求項１３又は１４に記載のヘッドマウントディスプレイ。
【請求項１６】
前記１以上の電子部品は、上面視において、前記冷却装置と重ならないように配置されており、前記第１の電子部品よりも厚みが厚い第２の電子部品を含む、
請求項１５に記載のヘッドマウントディスプレイ。
【請求項１７】
前記集積回路に対して前記熱拡散部材を弾性的に接触させる弾性部材を有する、
請求項１～１６のいずれか１項に記載のヘッドマウントディスプレイ。
【請求項１８】
前記装置本体は、その前部に、カメラと、該カメラを支持するフレームとを含むカメラユニットを有する、
請求項１～１７のいずれか１項に記載のヘッドマウントディスプレイ。